

平成25年度 事業計画書

公益財団法人 加越能育英社

東京都文京区小石川3丁目11番6号

I. 事業計画

1. 明倫学館の経営

(1) 見込み数 80名 (石川県40名、富山県40名)

(2) 納付金	館費 (月額) 4.5畳 (9.9 m ²)	25,000円 (38室)
	6畳 (13.2 m ²)	30,000円 (41室)
	3畳 (6.6 m ²)	20,000円 (1室)

入館金 50,000円

食費 1日分 (朝・夕食) 650円
(1ヶ月分 約13,000円)

保証金 (預かり金) 30,000円 (退寮時に精算)

(3) 寮舎の施設・設備の改善

二棟の寮舎のうち、旧館は昭和31年に建設され、新館も昭和42年に建設されたものである。一昨年3月11日の東日本大震災では旧館と新館の境目に一部被害があった。耐震ということを考えて早急に対策を考えねばならない。

次に施設・設備においても老朽化が目立っている。平成23年度及び平成24年度には新館と旧館の境目の亀裂補修、新館トイレの雨水漏れや壁の破損の補修、ポンプの補修などを行った。今後は平成24年5月に出された新明倫学館建設検討委員会の答申書に基づき、新たに設立した建設準備委員会において新明倫学館の設立について精力的に審議し、何らかの結論をださねばならない。

(4) 寮生活の改善と指導

明倫学館が一人ひとりの憩いの場であり、学習の場として安心・安全を実感できる寮生活を送れるように環境整備を図りたい。また、有為な人材として社会に羽ばたけるように自主性、自立性、社会性を身につける場としての寮生活となるよう、自治会活動を活性化し、日常の交流や寮行事への参加を促し人格形成に役立てたい。

2. 奨学金給付と優秀塾生顕彰事業

(1) 畠山奨学金の給付

昭和35年以来、畠山文化財団より毎年助成を受け、理系の学生に月額30,000円の畠山奨学金の給付を行ってきた。平成24年度は4名に給付をした。内訳は大学4年

生2名、大学3年生2名であった。

平成24年度から助成金基金が少なくなってきたため、奨学金の月額を20,000円と減額し、給付生4名を確保している。今後も4年生2名、3年生2名、合計4名に給付する予定である。

(2) 優秀塾生の顕彰制度

優秀塾生の顕彰制度は平成20年度までは理系学部2名が顕彰してきたが、平成21年度からは、理系学部(医、歯、薬、理、工、農系)2名と文系学部2名を顕彰することとなっている。本年度も21年度と同様とする。

3. 平成25年度の主な行事予定

- 4月 新入館生オリエンテーション
平成25年度入館式
要覧完成・発送
会計・業務監査
- 5月 定時評議員会
第1回理事会
同窓会総会
- 6月 全国学生寮協議会
スポーツ大会(自治会主催)
- 7月 石川県父母会、富山県父母会
- 8月 食堂休業(上旬から中旬)
- 11月 明倫学館寮祭(自治会主催)、
避難訓練、消防施設・設備点検
石川・富山県高等学校訪問
畠山一清翁 墓参
- 12月 募集要項発送
食堂休業(12月下旬)
- 2月 平成25年度卒館式
畠山育英賞贈呈式
- 3月 評議員会
第2回理事会
平成26年度入館生選考
卒館生退寮完了
食堂休業(3月下旬)